

わ 輪

っしょい!

いちのせき
協働ニュース

2017年11月

vol.13

子どもと一緒に、途中参加もOK、気軽に話そうよ!「若者会(仮)」



摺沢振興会

会長：小原 伸元 Facebook <https://www.facebook.com/surisawashinkoukai/>

お問い合わせ先
電話：0191-75-2229
摺沢市民センター

摺沢まちづくり計画を策定

平成28年2月に摺沢地区全世帯にアンケートを行い(回収率82%!）、その後中学生を含む地域の皆さんと5回のワークショップを行いました。話し合いの中で摺沢の課題や解決策を考え、その後の計画策定委員会では事業の絞り込みなどを行いました。そして平成29年3月、まちづくりの大目的を「若者が住みたくなるまちを創る」とした摺沢まちづくり計画が完成しました。

平成29年4月から計画に基づくまちづくり事業がスタート。若者世代による集まり「若者会(仮)」や、地域の交流の場「コトブキカフェ」などが動き出しました。



笑顔いっぱいコトブキカフェ!

情報発信に力を入れています!

毎月発行している摺沢振興会だより「ひだまり」。ひだまりは「みんなに知ってほしい摺沢」がテーマ。まち歩き(食べ歩き?)や自治会の活動、時には個人宅できれいに咲いているお花を取材したり。今では「ここの花きれいだけよ」「自治会でこんなことあるよ」など皆さんから情報提供をいただくようになり、嬉しい限りです。facebookも絶賛更新中!

事務局員からひとこと(青柳さつきさん)

関東から摺沢に嫁ぎ10年。地域を支えたいと思いつつ、逆に私が摺沢の皆さんに支えられ仕事をしています。笑顔をもっとに頑張ります!



いちのせき協働ニュース 輪っしょい!の発行にあたって

本紙では、特色ある地域協働の取り組みや、市民センターの「熱い」取組を紹介しします。

*地域協働とは、地域の自治会、消防団やPTAなど各種団体、市民、民間事業者(企業)等の多様な主体が、一定の地域において互いに、又は行政と、地域の特性や課題などを共有した上で、役割分担しながら、地域課題の解決や地域の実情に沿って地域づくりを進めるしくみです。



弥栄地区まちづくり協議会

会長：高橋 東喜

問い合わせ先
電話：0191-43-2346
弥栄市民センター



地域づくり計画策定の際のワークショップ

「弥栄地区まちづくり協議会」設立

平成28年6月22日、弥栄地区まちづくり協議会は、地区民が協力し合い、明るく豊かで住みよい弥栄の里をめざし、地区内の各種団体等との協働による地域づくりを進め、地域課題の解決と地区の発展、活性化を推進するために設立されました。

事務局職員からひとこと(佐々木春枝さん)

弥栄生まれ弥栄育ちの佐々木春枝です。弥栄の地域づくり活動を地域の皆さんと一緒に力を合わせて進めたいと思います。

皆で作ろう! 元気な弥栄

地域の子どもたちを元気にするため、弥栄市民センターの敷地内にカブトムシハウスを設置し、地域の方々と一緒にカブトムシの飼育に取り組んでいます。カブトムシと直接触れ合える環境を整備し、命の大切さを知り、さらに、地域の方々が一緒に作業することで子どもたちとの交流を図ることを目的としています。

本年度は、4月に確保したカブトムシの幼虫を成虫になるまで育て、夏休みの前に地域の幼稚園や小学校の子どもたちに配布することができました。カブトムシに触れたことのない子どもたちからは、大きな歓声が上がっていました。子どもたちは、カブトムシが卵を産み来年につながっていくことを知り、地域の自然にも関心を持ってもらえる活動になったと思います。



「カブトムシ大作戦」
幼虫の引っ越し作業完了!



たくさんのカブトムシを
前に興味津々の子どもたち



小梨自治振興協議会

会長：三浦 邦弘 Mail: konashijichishinkokyogikai@gmail.com

問い合わせ先
電話：0191-52-2496
小梨市民センター



平成28年に開催した小梨地区民祭演芸大会

1000人が集まる「小梨地区民祭」

小梨地区では、毎年11月第2週の日曜日に「小梨地区民祭」を開催しています。昨年は、「みんなが主役! みんなで創ろう! 明るく豊かで元気な地域!」をテーマに、自治会をはじめ児童生徒などの作品展、農産物展、成人講座作品展などを開催したほか、演芸大会では各自治会から演劇や舞踊などの披露がありました。また、特別企画展として「消えゆく郷土芸能展」も開催。地区民祭には、小梨地区の人口の約半分にあたる1千人の方が来場し、大いに盛り上がりました。



本年も自治会等と連携しながら、来場者が本当に楽しめる地区民祭にしようと準備しています。来る11月12日(日)には地区内外の皆さんの来場を、地区民及びボランティア(小梨地区の中高生を中心に組織するボランティア団体)一同お待ちしております。

指定管理委託を受けて

平成29年4月、市から当協議会が小梨市民センターの指定管理委託を受け、半年が過ぎました。不安いっぱいですが、スタートしましたが、地区の方々のご理解とご協力により、試行錯誤を経て何とか運営してきました。これから年度末まで事業並びに経理事務についても、「しっかり締めていかなければ」と思っています。(会長より)

事務局職員からひとこと(金野成美さん)

職員としてまだ経験や知識が不足しているかもしれませんが、会議や普段の会話など何気なく出た小梨地区民の声を形にして、より住みよい地域づくりを実現できるよう努めていきます。さらに、若さを生かして、小梨地区に若者が集う、新しい風を取り入れた事業を作り上げていきたいと思えます。





いわて松川やくにたつ会

会長：永澤 源治郎

問い合わせ先
電話:0191-48-2410
松川市民センター



宗松寺の悠然な杉並木をウォーキングする参加者ら

みなさんの「やくにたつ会」を目指して

当会は、松川地域の約600世帯、1,900人で構成する地域協働体です。地域の史跡や施設を学ぶ「地域を学ぼう! ウォーキング」や「まちづくり視察研修」、「まちづくり講演会」、地域内の出生児を祝う「新生児誕生祝」を行っているほか、本年度は女性を対象としたまちづくり研修を新たに実施しました。これからも住民の皆さんの意見を取り

入れながら地域協働体の名称にあるように“やくにたつ会”を目指して活動していきたいと思えます。

地域を学ぼう! ウォーキング

「地域を学ぼう!ウォーキング」は「歩いて健康、知って納得」をキャッチコピーに、地域内の史跡や名勝、施設などを巡る事業です。平成29年7月21日には「新・奥の細道ウォーキング」を実施。東北自然歩道「新・奥の細道」としても設定されている自然豊かなコースを巡り、座禅体験や三菱マテリアル(株)岩手工場の見学も行いました。参加者からは「普段体験できないことができた」と好評でした。

事務局員からひとこと(白藤祐貴子さん)

まだまだ勉強不足ですが、これまでの経験を活かして、みなさんと共に地域づくりに取り組んでいきます。松川の魅力を発信し、またみなさんとの出会いを大切に、地域の方々の声をお聞きしながら活動したいと思っています。



藤沢町住民自治協議会

会長：千田 博

HP : <https://www.dontokoi-f.com> Mail : fuji@dontokoi-f.com

問い合わせ先
電話:0191-63-5515 FAX:63-5517
藤沢市民センター



FESTが企画したボルダリングを楽しむ子どもたち

「藤沢野焼祭」に新しい風を!

当協議会では、若い人の意見をまちづくりに活かそうと平成28年度から「活力あるまちづくりチーム会議」を立ち上げました。本年度は、チームの名称を「FEST」と決めて活動を展開しています。

また、藤沢野焼祭を少しでも盛り上げたいと実行委員会に提言書を提出したところ、一緒に活動することとなり、FESTの2名が実行委員会の構成メンバーとして参加しました。

藤沢野焼祭に合わせ若者の感覚で企画した屋外での「子どもたちのボルダリング体験」と「映画上映会」に取り組みました。

当日は、待ちかねていた子どもたちや保護者が、歓声を上げながらボルダリングに挑戦。参加した子どもたちは「おもしろい、またやってみたい」と話していました。残念ながら予定していた映画上映会は雨のため中止となりましたが、FESTのメンバーは今後も地域の皆さんの笑顔が見える活動をしていこうと語り合っています。

藤中生の次世代プロジェクトは今年度も始動

藤沢中学校の「次世代プロジェクト」は、中学生にも“まちづくり”に参加してもらおうと平成28年度から活動しています。

本年度は、岩手県立大学との地域協働研究も行われており、3年生を中心とした7人の生徒が佐藤准教授指導のもとで、まちづくりのためのワークショップに取り組んでいます。



佐藤准教授の指導を受けて話し合う中学生の皆さん

第2回 市民センターの今、ココが熱い!

室根市民センター編

今回の「ココ熱」

『金曜夜のミニシアター』



平成29年9月15日、室愉会(室根と愉快な仲間たち)の企画により「金曜夜のミニシアター」が旧津谷川小学校校舎を会場に開催されました。当日は、79人の方が参加。

午後7時になると上映が始まり、メンバー手製の約3m×6mのスクリーンに映し出された映像を参加者全員が静かに見入っていました。「ペット」の映画上映に関係者のもとより、参加した方々も感動していました。

準備も愉しく取組んでいます

今年度の目玉事業である閉校した旧津谷川小学校の校舎を利用した事業を開催するため、室愉会のメンバーが数回集まり、会場の校舎にどのようにして映像を映し出すか、駐車場の確保、様々な運営に関する内容について、若者たちの視点から和気あいあいと話しました。



映画の定番「ポップコーン」は手作り



会場内で子ども達にポップコーンを無料提供するため、春からトウモロコシを栽培、収穫し、ポップコーン作りまでメンバー自らの手で行いました。

「室愉会」ってどんな人たち?

室愉会は、室根まちづくり協議会が地域の若者活動を応援し地域を盛り上げることを目的として、平成26年度に各自治会から推薦された若者が集まってできた組織です。

「室根に何があったら、何を行ったら」などを話し合う意見交換会(若者推薦委員会議)からスタートしました。現在は年3~4回のイベントを開催しております。

参加者・シアターリーダーからひとこと



参加者の **及川 翔大** くん
「お友達と楽しく観れました。」
(写真左)



シアターリーダー **小山 恵栄子** さん
「みんなでリハーサルを重ねてきました。実際にやってみて子どもたちの笑顔が見られたので良かったと思います。」

※シアターリーダーは、シアター上映全体を総括しています。

担当者に聞きました



室根まちづくり協議会
小野寺 愛 さん

●室愉会がこれほどまで活発に活動している要因を教えてください。

旧室根村時代(平成3年度)から公民館が企画する青年ふれあい塾等の若者活動の場を提供、将来室根地域を担う若者たちが様々な体験を通し、自らを磨く機会を創出してきたことが要因ではないかと思っています。

●閉校した旧津谷川小学校で映画の上映会をしようと思ったきっかけを教えてください。

野外でシアターを行うにあたり、色々な場所を視察してきました。野外での上映に広い校庭が魅力的だったこと、さらに施設の有効活用にもなり、津谷川地区の活性化にもなると思い閉校した小学校でのシアターを室愉会と一緒に実施しました。

●今後に向けてひとことお願いします。

室愉会は室根の課題(少子高齢化など)を若者目線で解決していこうと様々なイベントを企画しています。新たな企画についても室愉会の皆さんと一緒に取り組み、室根地域がより良くなるよう頑張りたいと思います。

室愉会ではほかにもこんな活動をしています。



いちのせきハラミ焼なしょつたべ隊を支援する目的で始めた「玉ねぎ収穫会」の中で、子どもたちの食育を目的としたお野菜クイズコーナーを担当しています。

また、青年ふれあい塾とコラボ企画した若者交流イベント「トモダチツクロウ青空camp」では、室根山で美味しいものを食べながら若者の交流を深めています。

